

支援を必要とする子ども・保護者

妊娠～出産

乳幼児期

保育園

小中学校

高校以降

小児科医による支援
1.妊産婦相談事業
(ペリネイタルビジット)
...etc

保健師による支援
1.母子手帳交付
2.乳児家庭全戸訪問
3.乳幼児健診
4.おやこ教室 ...etc

相談員等(心理職)による支援
1.乳幼児健診における検査及び医療機関へのリファー
2.おやこ教室などでの発達支援
3.心理相談などの相談支援事業
4.養護学校相談員との園訪問 ...etc

外部機関(養護学校、NPO法人)による支援
1.特別支援学校センターの機能
2.放課後等デイサービス、保育所等訪問支援事業 ...etc

小中学校教職員による支援
1.コア・サポート会議
2.通常学級内のUD化
3.個別の学習支援(リソースルーム)...etc

福祉係等による支援
1.移行支援会議等への参加
2.福祉サービス等の調整
3.養護学校関係者会議への参加
...etc

定期的なカンファレンス
小児科医、保健師、心理士の連携による、支援を要する子どもおよび家庭の早期発見、初期対応の検討など

↓
児童虐待の予防等

教育相談、来入児検査
保育士、教員、その他専門家による就学時に必要な支援の検討および情報の引き継ぎ
↓
新1年生の通常学級内での合理的配慮および特別支援学級入級率の低下

定期的な支援会議
教育・福祉・行政の連携による支援方針等の検討
↓
適切な学びの場等の検討、中学校卒業以降の支援体制の調整

子育てガイドブック配布

フェイスシートの作成・引き継ぎ

グットスタートシートの作成・引き継ぎ

グットスタートシートの作成・引き継ぎ

相談支援連絡協議会などでの関係機関の情報共有